戦後 80 年
平和への誓い

今年は戦後 80 年の節目の年です。

今日の平和は、先人たちの尊い犠牲の上に築かれていることを決して忘れてはいけません。二度と悲しみの歴史を繰り返さぬよう、戦争の愚かさと平和の尊さを次世代に語り継いでいくために、先月、市が実施した平和事業の一部を紹介します。

問合 総務課行政係☎内線 4013

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の追悼空間

式典会場の平和祈念像

原子爆弾落下中心地碑で献花する星野市長

第 11 回平和首長会議「被爆 80 周年記念総会」（長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典）

8/9［長崎原爆投下の日］ 長崎県長崎市

市を代表して星野市長が参列しました。戦没者を慰霊するとともに、同会議加盟都市間の連携意識を高め、平和への思いを新たにしました。

戦後 80 年特別学習会

8/6［広島原爆投下の日］ テラス沼田

市内中学生を対象に、戦場カメラマンの渡部陽一さんを招いて、平和学習を行いました。

渡部さんは、「どの戦場でも子どもが犠牲となる悲しみと残虐に満ちた戦争が今なお存在している事実を知り、少しでも思いをはせることが、優しく寛容に満ちた思いやりのある平和な世界をつくる」と、熱く語りました。

生徒たちは真剣に耳を傾け、講演後は、黙とうと意見交換を行いました。

同日、渡部さんはテラス沼田で開催していた「私の八月十五日」・「原爆・戦争遺跡」パネル展などを見学されました。

新たに追加した「沖縄戦とひめゆり学徒」パネル（左）と、白沢・利根小学校に保存されている「青い目の人形」に関するパネル（右、白沢中学校の生徒が作成）